

設 立 趣 旨 書

1. 趣 旨

少子化が顕著になってきている現代社会において、社会情勢の複雑化や核家族化、母子家庭の増加により、子ども達の生活や活動の範囲が、家庭内に依存する傾向にあると思われる。本来、子ども達は自分の育ちの基本である家庭を軸に、地域において愛情を持って育てられる権利を有しているが、これらの状況から、地域との関わりや人と人との関わりが希薄になってきているのではないかと考える。

青少年体験活動サポートセンターでは、次代を担う青少年（障がいを持つものを含む）に対し、各種公的機関と相互連携を取りながら、また民間企業の協力の下に、学習活動、創作活動、野外活動、環境教育活動、職場体験活動、スポーツ・レクリエーション活動、奉仕活動、交流活動等の様々な体験活動事業を提供することにより、出会いや学び、お互いを認め合い、成長していく場を創造するとともに、心身共に豊かに生きていくことを育みながら、広く社会教育の推進と子ども達の健全育成をサポートし、もってまちづくりの推進や子育て支援、地域・国際交流等に寄与することといたしたい。

また、それら体験活動を指導する者の養成を行うことにより、その資質の向上と交流支援を助長させるとともに、更なる体験活動の普及と円滑な展開を図ることで、公益に貢献することを目的に特定非営利活動法人として設立する。

2. 申請に至るまでの経緯

一民間企業の観光体験を提供する部署に従事していた者が集まり、任意団体「青少年体験活動サポートセンター」を平成26年8月に設立。

その後の実活動としては、営利を目的とせず、活動実績を作ることを目指し、平成27年2月に「おもいっきり雪遊びin美瑛」（子どもゆめ基金助成事業、旭川市教育委員会後援）：27名を実施。平成27年9月には「親子で楽しもう！英語でアウトドアクッキング」（Kids Duo 旭川協力、旭川教育委員会後援）：親子14組48名。平成27年12月～平成28年3月まで3日間・全5回の「雪の教室（ジュニアスキースクール）」（三浦雄一郎&スノードルフィン・カムイ校協力、旭川市教育委員会後援）：延べ300名を予定し、現在まで実施してまいりました。

それらの活動実績を踏まえ、今後の事業の充実を図る中では、更に広域で活動したいという思いと、より多くの子ども達に様々な体験活動事業を、実際に広く提供することが必要と考え、これらの普及・振興を図ることを目的に法人の設立に至る。

平成28年1月24日

特定非営利活動法人青少年体験活動サポートセンター
設立代表者 住所 上川郡美瑛町字水沢春日台第一
氏名 長谷川 卓